

令和3年度 学校図書館基本計画

足立区立第九中学校 校長 佐藤 豊

1 学校教育目標

人間尊重の精神を基盤に捉え、自ら学ぶ意欲をもち、社会の変化に主体的に対応し、国際社会で活躍できる知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒を育成する。

2 学校図書館の目標・ねらい ー身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度ー

- ① 学校図書館を活用し、読書の楽しさを教え、心豊かな生徒を育てる。
- ② 様々な文章を読み、自分の表現力を高め、発信できる生徒を育てる。
- ③ 学校図書館を活用し情報収集したり、調べたりすることとおして、主体的に学ぶ生徒を育てる。
- ◎④ 読書に親しみ、読書習慣と読解力を身につけさせる。

3 学校図書館の現状（昨年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 15,423 冊（蔵書基準冊数 12,640 冊）／ 蔵書率 122.0%									
	② 新規購入図書 649 冊 ／ 廃棄図書 0 冊 ／ 増減冊数 649 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2.4%	2.3%	7.8%	8.8%	7.3%	4.1%	2.3%	13.3%	5.8%	45.9%
*国基準	6%	3%	17%	10%	15%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間： 昼休み 13 時 00 分～13 時 20 分、放課後から 17 時 20 分まで									
	② 生徒一人あたりの年間貸出冊数 7.12 冊（前々年度:6.27 冊）									
	③ 学校図書館利用率 1752%（前々年度：1361%）									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	<ol style="list-style-type: none"> ① 自身の興味関心を基に本を選び、読書に親しむ態度を養う。 ② 数ある本の中から必要な情報を取り出し、まとめる能力を育成する。 ③ 本の魅力を伝える力やプレゼンテーションする能力を育成する。
今年度の成果目標	達成基準
<ol style="list-style-type: none"> ① 学校図書館の本の中から好きな本を選び、読書ができる。 ② 学校図書館の本を活用し、国語や総合的な学習の時間に新聞やプレゼンテーション資料を作成することができる。 ③ 学校図書館の中から好きな本を選び、その魅力を表現し、伝え合うことができる。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 昼休みに図書室を利用する生徒の割合 10%増 ② 読書活動の授業を年5回程度実施するクラスの割合 100% ③ 生徒の作品中で図書を出典とした記事の割合 50% ④ 好きな本のあらすじや魅力を言語で伝えることができる。本の魅力を聞き、自身の読書活動を広げている
第2学年	<ol style="list-style-type: none"> ① 様々な分野の読みものに触れる。 ② 情報収集の手段として図書室を利用する。 ③ 本の魅力を伝える力やプレゼンテーションする能力を育成する。
今年度の成果目標	達成基準
<ol style="list-style-type: none"> ① 休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書館を活用して、読書ができる。 ② 課題に応じて、本や新聞等、ICT 機器を使い分け、探究活動を進めることができる。 ③ 校外学習等の学校行事を実施する際に、図書室を利用した事前・事後学習を行うことができる。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 第2学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数前年度比 10%増 ② 読書活動の授業を年8回程度実施するクラスの割合 100% ③ 学年生徒の調べる学習コンクールに向けたレポート作成率70%以上 ④ 今までに読んだ本を読書記録にまとめ、本の世界を広げることができる割合 100%

第3学年	① 本や新聞記事をとおして自分の考えを広げたり、深めたりしようとする意欲を育てる。 ② 学校図書や ICT 機器を活用した探究活動を通して、言葉の力の向上及び発信力・表現力を育成する。 ③ 本の魅力を伝える力やプレゼンテーションする能力を育成する。
今年度の成果目標	達成基準
① 休み時間や放課後の時間等を中心に、主体的に学校図書館を活用し、読書を行うことができる。 ② 課題に応じて、本や新聞および ICT 機器を使い分け、探究活動を進め、ディスカッションすることができる。その際、参考文献等を引用することができる。	① 第3学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数前年度比10%増 ② 読書活動の授業を年5回程度実施するクラスの割合100% ③ 学年生徒の調べる学習コンクールの参加率80%以上 ④ 新聞記事に対して意見文を書く授業を年10回以上実施するクラス割合100%

5 学校図書館環境整備に関する取り組み計画・方針

【蔵書・配架等に関すること】

- ① 新規購入図書に向けて、教員及び生徒を対象とした希望図書アンケート前期及び後期に2回とり、蔵書の充実を図る。
- ② 蔵書構成割合が偏っているため、国の基準より低いものは計画的に購入する。
- ③ 学校行事や調べ学習等でも活用できる、資料型の書籍の購入を計画する。

【学校図書館支援員との連携・協働】

- ① 4月末を目途に国語の授業で学校図書館オリエンテーションを実施し、生徒が適切に利用できるようにする。
- ② 学校図書館オリエンテーションの実施や新書の紹介コーナー及びPOP作成など支援員の連携・協働に取り組む。
- ③ オリンピック・パラリンピックやキャリア教育等、時期に応じた連携や協働に計画的に取り組む。
- ④ 図書委員会による図書便りの発行及び掲示をするとともに、季節に応じた掲示物や新書のPOP作成等の工夫することで生徒の読書活動の向上の一助をする。
- ⑤ コロナウイルス感染予防を実施しつつ、生徒にとって有益な活動ができるよう常に工夫・改善策を教員とともに検討する。

【その他】

- ① 年度末の貸し出し返却率が100%となるように取り組む。
- ② 自治委員会による活動を活発にし、生徒が主体的に図書室運営を行う。
- ③ 梅田図書館との「調べ学習用図書」の配送サービスの積極的な活用を図る。